

対馬暖流は暖水渦を迂回して北上 対馬暖流の流量は平年よりも2割増し 今後の沿岸水温は平年よりも高めで推移

2023年9月24日～29日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は道南の海域では沿岸寄りを北上しています(図1c)。また、積丹半島沖には前回同様に暖水渦が形成されているため、対馬暖流はこの渦の西方を迂回して北上しています(図1c)。

せたな沖で計算した対馬暖流の北上流量は約1.2 Sv (1 Sv=10⁶ m³/s) で平年よりも2割多くなっています(10月流量の平年値は1.0 Sv)。

50 m深水温は5～16 °Cで、暖水渦の分布する海域、および道北の沖合の海域で平年よりも約1～3 °C高くなっています(図1a,b)。一方、松前沖では沖合冷水の本道側への張り出しにより水温は平年よりも約1～4 °C低くなっています(図1a,b)。

9月下旬の余市前浜水温は「非常に高い」ですが(※1)、向こう1ヶ月の気温の予報は平年よりも高くなる確率が高くなっていますので(※2)、今後、沿岸水温は平年よりも高く推移することが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyou/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

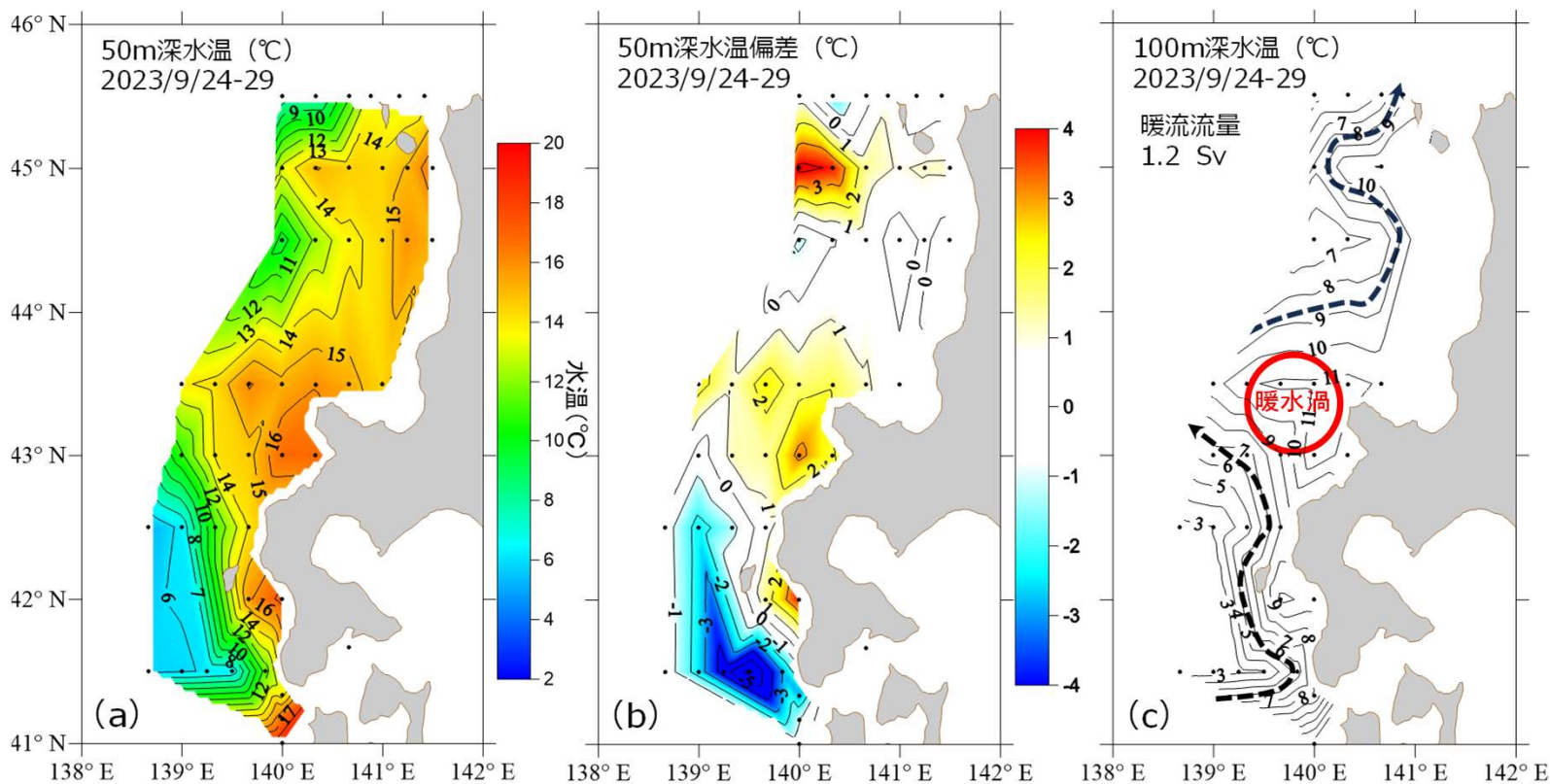


図1 2023年9月下旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路(矢印)。水温偏差は過去30年(1989年～2018年)の平均値から算出。流量の単位はSv (=1×10⁶m³/s)。